

国際感覚の研鑽と奉仕活動

川崎中原ロータリークラブ
国際奉仕委員長 徳安久是
事務局：044-722-7282

【平成 27 年～29 年の 3 期に渡る学習と奉仕活動】



【ドイツ公使の卓話(クイーンアリス日吉)】



【ドイツ大使との意見交換 (ドイツ大使館)】

私達川崎中原ロータリークラブと、EU 主要国で先進 7 か国のメンバーであるドイツの在日大使館との交流は、平成 21 年から始まりました。直近 3 年間の交流は、儀礼的なものから一步踏み込んだものとなっており、国内にいながらしてタイムリーな国際感覚を磨くことができ、奉仕活動に大きく役立っています。

平成 28 年～29 年の国際奉仕活動は 3 期に渡った学習から難民への寄付へつながりました。

平成 27 年 5 月 21 日 「日独経済関係」卓話

Dr.ルッツ・H.ゲアゲンス ドイツ公使を例会に招いて卓話をいただきました。東西ドイツ統一後のドイツが険しい道のを辿りながらも現在も EU を牽引するヨーロッパの経済大国となっているその原動力と問題点についてお話いただきました。また、難民問題に対する意識がクローズアップされました。



【ドイツ国内の難民施設への寄付贈呈（ドイツ大使館）】



【日本ユニセフ協会広報担当、小林様卓話】

平成 28 年 2 月 4 日 「ドイツと EU における難民の状況」

ドイツ大使館を訪問し、難民問題について Dr.Hans Carl von Wethem
ドイツ大使からレクチャーを受けました。

小さなロータリークラブではありますが、日ごろの交流の深さと広く認められているロータリークラブの奉仕活動により、大使自らレクチャーしていただける機会を得ました。国際舞台で活躍される閣下のレクチャー並びに質疑応答は国際感覚の研鑽に大きく役立ちました。

平成 29 年 6 月 7 日 ドイツ国内の難民施設への寄付

青少年交換学生がドイツのロータリークラブへ派遣されていることや3期に渡る学習機会から、ドイツ大使館を訪問し、先進国ではありますがドイツ国内の難民施設に寄付を行いました。

平成 29 年 6 月 8 日 「パレスチナの子供たちへの支援」

(公財) 日本ユニセフ協会、広報担当 Dr. 小林和香子氏から卓話をいただき、シリア緊急募金への寄付を行いました。小林氏は、パレスチナ地域で実際に難民支援活動を行ってきた経験を持ち、まさに現場の状況を拝聴しました。

以上3年かけたロータリーでの国際奉仕活動への研鑽と考察をもとにした奉仕活動を実施しました。